

日本救急医療財団の活動報告

平 賢 二 事務局長

2016年8月中旬から10月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 「救急の日2016」について

厚生労働省・消防庁・一般社団法人日本救急医学会・一般財団法人日本救急医療財団が主催団体として本年も「救急の日2016」を9月4日（日）に昨年と同じ場所、アクアシティお台場・3階「アクアアリーナ」で開催しました。

このイベントの目的は、平成28年9月の「救急の日」及び「救急医療週間」の記念行事として実施されたもので、国民の救急、防災に対する意識を高めるために、救急・災害現場で活躍している医療関係者、救急隊員、救急救命士、ボランティア等の活動を広く国民に知らせることにより、救急医療、救急業務、小児救急、災害救助等に対する正しい理解の普及向上を目的としており、「救急蘇生法」は、誰でも参加して「いざ」というとき、誰もが応急手当を行うことができるように体験していただくことのできるコンテンツで行われました。

【ステージイベント】

- 日本赤十字社指導員による

「あなたの勇気が命を救う！ハートラちゃんと一緒に体験しよう AED」



- 日本 AED 財団「減らせ突然死プロジェクト」による

「シドニー五輪メダリスト源純夏氏と心停止からの生還者のライブトーク&子供たちへの簡単救命講座」



○ 消防庁、日本救急医学会による

「救急車の適正利用ショートムービーコンテスト 最終審査会」



2. 臨時常任役員会開催について

9月15日(水) 13時30分より財団会議室において、臨時常任役員会が開催されました。議題は、①日本救急医療財団創立25周年記念誌(仮称)作成について、②平成29年度理事会開催日程調整について審議されました。

3. 総務委員会について

9月15日(木) 14時10分より財団の会議室において、総務委員会が開催されました。本財団が平成3年3月29日に法人成立し、本年3月29日で創立25周年にあたり、「救急医療財団発足25周年記念事業」として、記念誌を発行することになった。

日本救急医療財団創立25周年記念誌(仮称)の素案に基づき検討した。

4. 心肺蘇生法委員会について

9月27日(火) 15時00分より東京ガーデンパレスにおいて心肺蘇生法委員会が開催されました。

今回の主な議題は、「JRC 蘇生ガイドライン2015」が公開されたことに伴う、救急蘇生法の指針2015(医療従事者用)について、事前に配布していたゲラ版に対する各委員からの修正意見等について議論され、修正内容の確認作業が行われた。9月30日までに再度修正意見の提出を求め、10月2日の編集委員会で纏められ、10月中旬までに最終校正を終え11月中旬までに出版することの確認がされた。

研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

1. 救急救命士養成所専任教員講習会について

平成28年8月15日(月)から8月19日(金)までの5日間、独立行政法人国立病院機構研修センターにおいて、救急救命士養成所専任教員講習会を実施しました。

研修内容は、①救急救命士養成施設の現状と教育体制、②救急救命士の研究と統計処理、③

救急現場活動の実際と救急隊員に求められる素養、④救急救命士の活動に必要な関係法規、⑤病院前医療体制の現状と課題、⑥教育技法総論の講義、⑦病院前医療体制充実のためのMC体制の強化、⑧病院前医療体制充実のための課題、⑨高度シミュレーターを使用した特定行為プロトコルの実際、⑩教育現場でのプレゼンテーション技法についてのワークショップであり、全国から35名の受講者が参加されました。

特に、ワークショップでは、活発な意見交換と受講生相互の情報交換がなされ、大変有意義な講習会となりました。

2. 看護師救急医療業務実地修練について

全国から推薦された69名の看護師が、平成28年9月8日（木）から9月16（金）までの7日間、リロの会議室田町会場において合同研修を実施し、さらに、9月26日（月）から9月30日（金）までの5日間、全国の救命救急センターを持つ17病院に分かれての施設研修を実施しました。

合同研修では、救急医療の現状、救急に必要な不整脈の知識、脳卒中、ショックの病態、院内救急対応、熱傷、ERの現状、意識障害、ACS、災害看護学概論、災害医療概論、小児医療、臓器不全・血液浄化法、グリーンケアとDMORT、救急患者への対応とトリアージ、急性中毒、ドクターヘリにおけるフライトナース、高齢者医療、精神病状を持つ患者へのアプローチ、呼吸不全、脳死と臓器移植、救急における安全管理の講義、災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT、救急トリアージの実際（成人トリアージ、小児トリアージ、電話トリアージ）、（私の施設の）救急で困っていること、JNTECの実技のワークショップを通して、救急医療の実際、最新の情報を学ぶとともに、受講生相互の情報交換があり、連帯感が深められました。

施設研修では、実際の救急医療現場で救急処置室の見学、救命救急センター及び救急ICU等での研修、救急外来（初療室やER）における救急患者のトリアージ等の研修を実施しました。